

発明の名称: クラミジア属細菌の抑制に効果のある トリプトファン代謝中間産物

利用・用途・応用分野

無料開放特許

クラミジア属細菌に有効・安全な医薬品、及び予防可能な機能性食品の製造法

目的・課題

解決ポイント

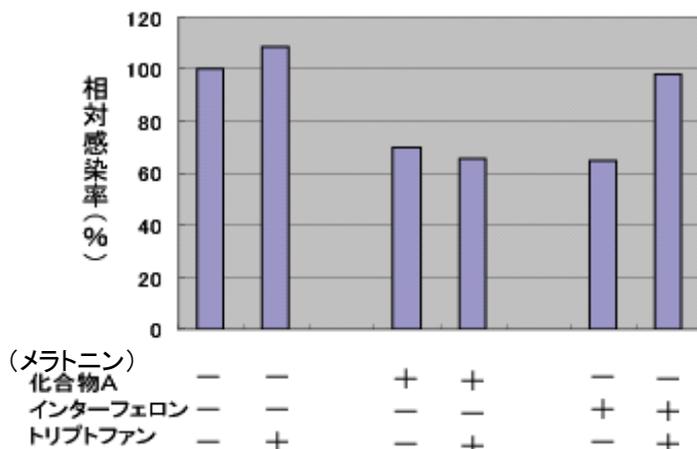
クラミジア属細菌は、偏性細胞内寄生性細菌で性感染症や肺炎、結膜炎などの原因菌である。現在、ワクチンの開発も進められているが、未だ十分な効果の得られるワクチンの開発に至っていない。クラミジア属細菌の感染や増殖を効果的に抑制する物質及び利用法の提供を目的とする。

クラミジア属細菌の病原性解明を進めており、その解析から、クラミジア属細菌は、トリプトファン合成酵素遺伝子群に存在の有無も含め大きな「揺らぎ」があることが明らかとなった。これに着目し、トリプトファンの代謝阻害剤等をクラミジアの感染実験等に用いる中で、トリプトファン代謝中間産物、特にメラトニンとセロトニンがクラミジアの感染や増殖を阻害する効果を持つことを見出した。

研究概要・アピールポイント

本発明医薬組成物を利用することで、慢性的な感染症の原因菌であるクラミジア属細菌に対して有効で、しかも人体に対して安全な薬剤を製造できる。

本発明の医薬組成物は、クラミジア属細菌の感染を比較的容易に、かつ安全・安価に予防可能な機能性食品を製造できる。



【図1】クラミジア感染に対する影響

◆ お問い合わせ先 ◆

有限会社山ロティエール・エル・オー TEL: 0836-22-9768 E-mail: tlojim@yamaguchi-u.ac.jp